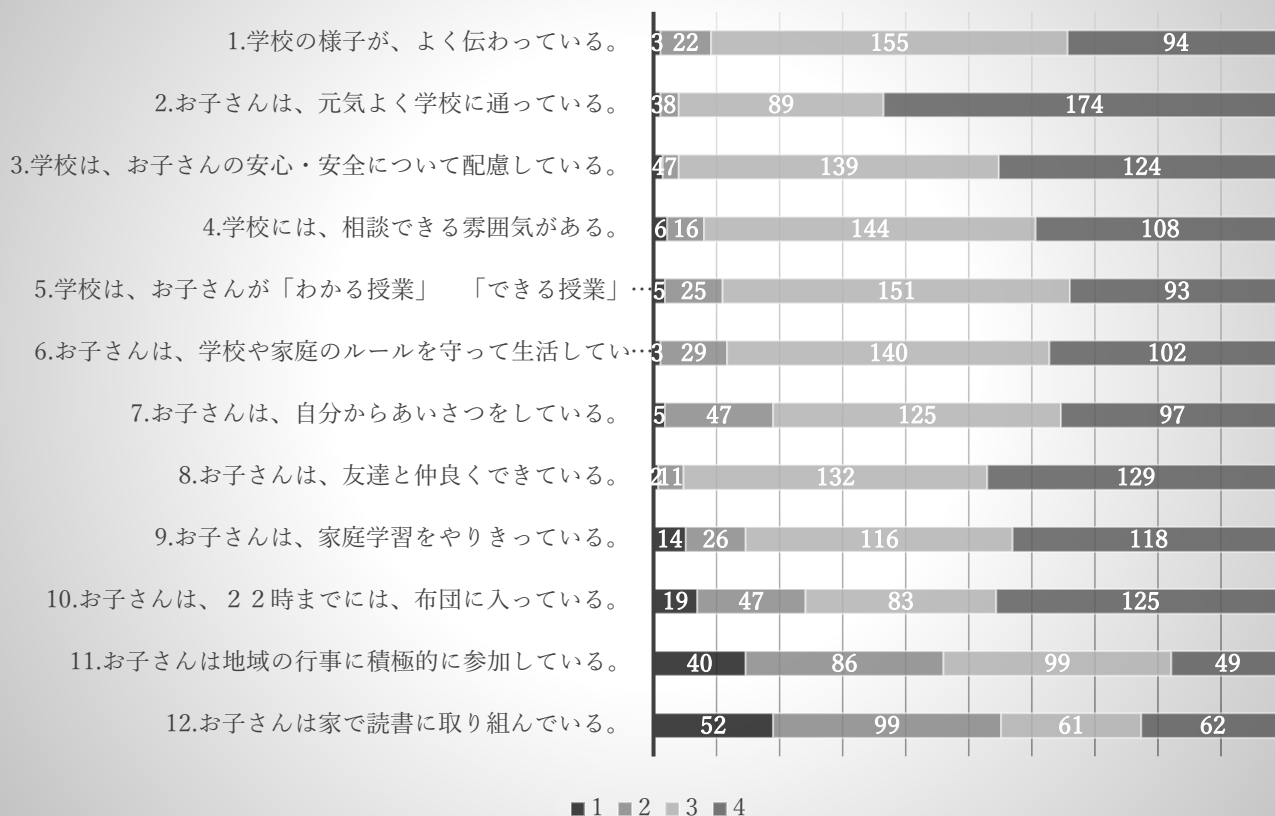


令和7年度 学校評価（保護者・児童）の結果及び分析について⇒学校関係者評価へ

令和7年度 肥田小学校 学校評価（保護者）



令和7年12月に学校教育に関わる評価として、保護者アンケートを実施した。保護者が各項目について、4・3・2・1で評価を行った。PTA会員206世帯（児童数281名）のうち274名分の児童の保護者を対象とした学校評価（12項目）について回答を得た。

4・3・2・1は、下記の内容である。

- 4 そう思う
- 3 どちらかと言えば、そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思わない
- 1 そう思わない

12の項目についての評価結果は上のグラフの通りである。この保護者評価を受け、令和8年度の学校教育の実践に向けて、学校職員の意識と行動をどのように改善していくべきなのか考察する。

1 学校の様子が、よく伝わっている。（授業参観、懇談、学校報、学年通信、ホームページなど）

4…94人 (34.3%) 3…155人 (56.6%) 2…22人 (8.0%) 1…3人 (1.1%)

【参考】令和6年度の結果

4…93人 (35.1%) 3…147人 (55.5%) 2…23人 (8.6%) 1…2人 (0.8%)

【4もしくは3：90.9%】学年通信や学校報等、各種文書を極力すぐる配信にして直接保護者に届くようにしたことやタイムリーなHPの更新、日々の保護者との情報共有の成果である。「保護者が学校の様子をよく知ってくれている」状態であることが、すべての教育活動の基盤になる。この基盤をこれからも大切に維持していく。

2 お子さん（自分の子）は、元気よく学校に通っている。

4…174人 (63.5%) 3…89人 (32.5%) 2…8人 (2.9%) 1…3人 (1.1%)

【参考】令和6年度の結果

4…159人 (60.0%) 3…98人 (37.0%) 2…7人 (2.6%) 1…1人 (0.4%)

【4もしくは3：96.0%】相談員の協力により、登校をしぶったり学級に適応しきれなかったりする子の居場所としての相談室を機能させている。いじめ・長欠支援会議やケース会議、心のアンケート及び相談週間の位置付けなど、SOSが出せる学校の体制を維持している。特別支援学級の担任とも協力し、お試し入級を展開することで、その子の居場所を確保している。今後も、子どもの心を支え、前向きにさせている指導・支援を丁寧に実践していく。

3 学校は、お子さん（自分の子）の安心・安全について配慮している。

4…124人 (45.3%) 3…139人 (50.7%) 2…7人 (2.5%) 1…4人 (1.5%)

【参考】令和6年度の結果

4…106人 (40.0%) 3…144人 (54.3%) 2…13人 (4.9%) 1…2人 (0.8%)

【4もしくは3：96.0%】継続して良好な状態であるが、休み時間における子どものケガ情報を多く受けた。一歩間違えれば…と心配になる事故もあり、その度に、安全指導を打ってきた。また、登下校途中のケガ情報も少なくなく、常に改善の余地を探し、追求していく必要がある。「子ども自身に『命の守り方』について考えさせる」指導を展開する。

4 学校には、相談できる雰囲気がある。

4…108人 (39.4%) 3…144人 (52.6%) 2…16人 (5.8%) 1…6人 (2.2%)

【参考】令和6年度の結果

4…99人 (37.3%) 3…143人 (54.0%) 2…21人 (7.9%) 1…2人 (0.8%)

【4もしくは3：92.0%】継続して良好ではあるが、数値に関わらず常に学校課題として認識し、改善を続ける。普段から、保護者と対話を積極的に行い、一人一人の子どものよさや可能性を伝え、励ましながら、保護者としての願いを引き出すことに努める。そして、その願いを中心に据えた情報共有を重ねる中で、適切な指導・支援方法を探る営みを展開していく。

5 学校は、お子さん（自分の子）が「わかる授業」「できる授業」をしている。

4…93人 (34.0%) 3…151人 (55.1%) 2…25人 (9.1%) 1…5人 (1.8%)

【参考】令和6年度の結果

4…97人 (36.6%) 3…139人 (52.5%) 2…26人 (9.8%) 1…3人 (1.1%)

【4もしくは3：89.1%】継続して良好な状態ではあるが、全国学力・学習状況調査の結果を見ると、国語・算数ともに県平均を下回る結果が続いている。

■ 今年度の全国学力・学習状況調査の結果から改善を要するポイント

□ 国語 ▲ 「漢字の読み、書き」「条件付きの記述」

★ 文章の構成を考えたり理由をつけて自分の考えをまとめたりする

□ 算数 ▲ 「複雑な領域が混ざった問題文を正しく理解すること」

★ 問題場面の状況を正確に把握する 考えをまとめたり論理的に考えたりする

「単位時間の授業や単元・領域全体における学習が、本当に『力』としてその子に身に付いたと言える状態になっているのか」を常に問い続け、授業改善を図っていく。

6 お子さん（自分の子）は、学校や家庭のルールを守って生活している。

（タブレット型端末の使い方、持ち物、通学路、家庭の約束など）

4…102人 (37.2%) 3…140人 (51.1%) 2…29人 (10.6%) 1…3人 (1.1%)

【参考】令和6年度の結果

4…100人 (37.7%) 3…138人 (52.1%) 2…25人 (9.4%) 1…2人 (0.8%)

【4もしくは3：88.3%】規範意識の高さは維持されている。「だれもが安心・安全に、楽しく前向きに、生活・学習することができるようにするため」に存在するものがルールである。「そのルールを、自分自身の思考・判断によって、自分の行動に反映させることができる姿」を目指す姿として、心配な行動が見られた時こそ好機と捉え、保護者とも協力しながら指導を展開する。

7 お子さん（自分の子）は、自分からあいさつをしている。

4…97人 (35.4%) 3…125人 (45.6%) 2…47人 (17.2%) 1…5人 (1.8%)

【参考】令和6年度の結果

4…81人 (30.6%) 3…121人 (45.6%) 2…58人 (21.9%) 1…5人 (1.9%)

【4もしくは3：81.0%】元気な挨拶の姿がたびたび認められており、これまでの指導や児童会活動の成果を感じる。今後も、「一瞬の姿で人柄が評価・判断される可能性があること」や「その一瞬の積み重ねが他者との良好な人間関係を築くことにつながる」という挨拶の意味を、発達段階に応じて理解させ、誰にでも元気な挨拶ができるひだっ子の姿を目指したい。

8 お子さん（自分の子）は、友達と仲良くできている。

4…129人 (47.1%) 3…132人 (48.2%) 2…11人 (4.0%) 1…2人 (0.7%)

【参考】令和6年度の結果

4…129人 (48.7%) 3…122人 (46.0%) 2…13人 (4.9%) 1…1人 (0.4%)

【4もしくは3：95.3%】人間関係形成に関する指導がよい方向に向かっている。今後も、「多様性」をキーワードに学級・学年・学校運営を展開していく。様々なルーツや特性のある子が共同

生活を営んでいることは、肥田小の強みである。違いを理解し、受け止め合い、折り合いをつけながら築いていく共同生活の中で、よりたくましく心豊かな子を育てていきたい。

9 お子さん（自分の子）は、家庭学習をやりきっている。

4…118人 (43.1%) 3…116人 (42.3%) 2…26人 (9.5%) 1…14人 (5.1%)

【参考】令和6年度の結果（学習時間は、十分だと思う）

4…113人 (42.6%) 3…103人 (38.9%) 2…40人 (15.1%) 1…9人 (3.4%)

【4もしくは3：85.4%】小学校段階における家庭学習の最大の目的は、「『一人一人』の子に『学習習慣の定着』を図る」ことである。丁寧さと根気が必要になるが、個別最適な家庭学習の在り方を探求し、保護者とも情報共有を図りながら展開する中で、指導・評価（見届け・価値付け）をやりきりたい。

10 お子さん（自分の子）は、22時までには、布団に入っている。（1～3年生は、21時）

4…125人 (45.6%) 3…83人 (30.3%) 2…47人 (17.2%) 1…19人 (6.9%)

【参考】令和6年度の結果（睡眠時間は十分だと思う）

4…129人 (48.7%) 3…72人 (27.2%) 2…37人 (13.9%) 1…27人 (10.2%)

【4もしくは3：75.9%】十分とは言い難い状況であり、ネットゲームや動画視聴等で睡眠時間を奪われている現状が想像できる。各種保健指導や情報モラル教室など基本的な生活習慣の確立につながる指導や活動の機会が充実している肥田小の強みを活かし、子どもたちの生活リズムの改善につなげていく。

11 お子さん（自分の子）は、地域の行事（ボランティア活動等）に積極的に参加している。

回答者延べ274人（割合は、およその数である）

4…49人 (17.9%) 3…99人 (36.1%) 2…86人 (31.4%) 1…40人 (14.6%)

【参考】令和6年度の結果

4…78人 (29.5%) 3…132人 (49.8%) 2…47人 (17.7%) 1…8人 (3.0%)

【4もしくは3：54.0%】ボランティアに特化する問いであると認識をさせてしまったため、数値が低くなった。来年度以降は、小学生という段階を考え、問い方を改善したい。「地域を愛し、地域に愛されるひだっ子」という目指す子どもたちの姿の実現に向けて、総合的な学習の時間のカリキュラムの改善や学校運営協議会と連携した教育活動の展開を進めていきたい。

12 お子さん（自分の子）は、家で読書に取り組んでいる。

回答者延べ274人（割合は、およその数である）

4…62人 (22.6%) 3…61人 (22.3%) 2…99人 (36.1%) 1…52人 (19.0%)

【参考】なし

* 今年度から、新たに追加

【4もしくは3：44.9%】まずは、「本との出会いの場」を演出する工夫をする。図書委員会の活動や朝読書、読み聞かせやブックトーク、日々の図書館運営など、すでに展開している読書を推進するための活動や指導の場を活かし、「本と出会った先にある楽しさ」をつかませることへとつないでいきたい。読み聞かせ活動については、広く保護者や地域の方からもボランティアを募り、展開していく。

令和7年度 学校評価（保護者及び児童）結果についての比較

■ 保護者評価と児童評価の比較表（%）

		① 教員と	② 元気	③ 姉・姪	④ 相談	⑤ わかる	⑥ ルール	⑦ あいさつ	⑧ 仲良く	⑨ 宿題	⑩ 9・10時	⑪ ポスター作り	⑫ 読書
4	保	34.3	63.5	45.3	39.4	34.0	37.2	35.4	47.1	43.1	45.6	17.9	22.6
	子	53.9	66.0	47.2	37.6	52.8	68.3	64.2	78.2	77.1	40.6	38.4	35.8
3	保	56.6	32.5	50.7	52.6	55.1	51.1	45.6	48.2	42.3	30.3	36.1	22.3
	子	29.9	28.4	35.8	37.7	33.6	26.6	25.8	15.9	15.1	27.7	31.7	23.3
2	保	8.0	2.9	2.5	5.8	9.1	10.6	17.2	4.0	9.5	17.2	31.4	36.1
	子	11.1	3.0	10.7	17.7	9.2	4.0	8.1	4.1	4.1	15.5	15.5	17.3
1	保	1.1	1.1	1.5	2.2	1.8	1.1	1.8	0.7	5.1	6.9	14.6	19.0
	子	5.1	2.6	6.3	7.0	4.4	1.1	1.9	1.8	3.7	16.2	14.4	23.6

特に指導改善を図りたい項目は以下の通りである。

④ 先生たちに相談できますか？

… およそ4人に1人が、先生に相談しにくいと感じている。

『個性の受容』…「あなたはあなたのままで素晴らしい」というメッセージを伝える。教育相談週間を核としながら、普段の子どもたちとの対話でもこの教師の姿勢を貫く。

⑩ 夜9時（10時）までには、ふとんに入っていますか？

… およそ3人に1人の就寝時刻が、健康的ではない。

保健委員を中心にしながら、十分な睡眠をとることのメリットや睡眠不足のデメリットを発信し、各学年・学級においても子どもたちにその気にさせる指導を展開する。情報モラル教室での指導においても、睡眠の大切さを理解させる。

⑫ 家でよく読書をしていますか？

… およそ2人に1人が、家であまり読書をしていない。

図書委員会の活動や朝読書、読み聞かせやブックトーク、日々の図書館運営など、今ある活動や指導の一つ一つをつなげ、「出会った先にある楽しさ」をつかませる。国語の授業を核としながら、本から学ぶ活動を意図的・計画的に位置付ける。

R7年度学校評価(職員) 肥田小学校

令和7年12月

1 全体にかかわって

番号	評価内容	評価平均
1	学校の教育目標の具現…「よく学び たくましく 心豊かな子」が育っているか	3.1
2	研究推進 …対話的な活動を通して「分かった・できた」が実感できる授業づくりができたか	2.9
3	学年・学級目標 …学年・学級目標を目指した子が育っているか	3.1
4	いじめ・不登校の未然防止…ほかほか言葉・行動等、互いに尊重し合う態度、ルールとリレーションの確立ができたか	3
5	期の指導のねらいと取組…期のめあての設定、三部の取組、集会は児童にとって有効であったか	3.1
6	日課、週時程、朝活動、は適切であったか	3.2
7	行事(学校、学年、児童会)…内容、時期、時間数は適切であったか	3
8	生徒指導対応…アンケートの活用、子どもの話に傾聴し、組織で対応できたか	3.4
9	教育相談…職員の共通理解のもと、相談室、教育相談対応を行い、全ての児童に相談的姿勢での対応ができていたか	3.4
10	道徳教育…年間指導計画に則った授業を推進し、思いやりの心で人に接することのできる子が育っているか	3.2
11	人権教育…どんなときも、どの子も尊重され、またお互いの違いを理解しようとする心が育っているか	3
12	特別支援教育 …個の能力、特性に応じた指導を行い、子どもの困り感に寄り添い、将来、社会的自立ができる児童が育っているか	3.1
13	特別活動…自分の役割に責任をもち、集団活動での連帯感、所属間をもつことのできる児童が育っているか	2.9
14	総合的な学習の時間…ふるさと学習や特別支援学校との交流を通して、仲間や地域の人と関わり、地域に愛着をもち、自己の生き方を考えようとする児童が育っているか	3
15	日本語指導…外国人児童の実態に応じ、子どもによりそった日本語指導を行うことができたか	3.6
16	働き方改革…タイムマネジメントを意識して業務を行うことができたか	2.7

2 学習・文化部にかかわって

番号	評価内容	評価平均
1	学習指導…学習姿勢、学習規律、学習環境	2.9
2	図書指導 …豊かな読書、図書室運営、図書室掲示、読書指導、読書週間、(花さき会)	3.3
3	情報教育 …タブレット・実物投影機の活用、情報モラル指導、HPの作成	3
4	校内掲示、作品募集・管理	3.2
5	児童会活動…3つのほこり、各委員会活動、その他	3
6	分団指導、登下校指導…毎日の登下校、分団下校、分団会、交通安全教室	3

3 健康・環境部にかかわって

番号	評価内容	評価平均
1	体力づくり…水泳指導、ACP	3.1
2	安全指導…安全点検、命を守る訓練、事故対応(アレルギー対応など)	3.2
3	給食指導、食育…給食時の配膳・片付け・マナー指導、衛生・栄養指導、食に関する指導	3
4	保健指導 …性教育、歯に関する活動(歯きり、毎日の歯磨き等)	3.5
5	その他(保健に関わる管理)…衛生的なトイレ、身長に合った机や椅子の調節、保温・加湿・換気	2.9
6	生活指導…生活態度、生活習慣(挨拶、廊下歩行、トイレ・下駄箱の整理整頓、落とし物等)	2.8
7	清掃指導…もくピカ清掃、掃除道具の点検・整備、掃除週間	2.8

4→今年度大変成果があったので、今年度のように継続するとよい

3→今年度成果があったので、概ね今年度のように継続するとよい

2→改善の必要がある

1→根本から検討し直す必要がある

【全体にかかわって】

- ・学校の教育目標…「よく学び たくましく 心豊かな子」の具現を目指し、今年度、従来の三部から二部に再編成して日々の教育活動に取り組んできた。教育目標とのつながりを意識した提案のもとで教育活動に取り組んでこられたが、さらなる教育目標の具現に向けて、今後は、期のねらい、二部の目標を各学年でどう具体的に取り組むのかやその振り返りを共有する場を設けていきたい。
- ・研究推進…全校研究会や研修会を機に実践に結び付け、対話的な活動を追究することができた。児童が「わかった、できた」と実感できるように、これまで培ってきた「対話的な活動」の方法を進化させていきたい。
- ・日課、週時程…火木曜日の朝活と掃除を無くし、児童の下校時刻を早めており、放課後の時間が長くとれるようになったことで職員の働き方改革にもつながっている。来年度は、児童の安全の確保、職員の働き方改革の観点から、児童の登校時刻と職員の勤務時間、日課を見直していきたいと考えている。
- ・生徒指導、教育相談…心のアンケートをもとに、「教育相談週間」で担任や相談員と児童が1対1で話す時間を確実に設けて子どもの思いを丁寧に聞き取ったことで、児童の悩みや不安に早期に気づき対応することができた。また、適宜ケース会議や長欠いじめ等支援会議を行うことで情報共有を行い、組織で対応することができた。来年度も継続していきたい。
- ・特別活動（学級活動）、総合的な学習の時間…学習の目的や年間の計画を見直し、計画的に進めていく必要がある。また、総合的な学習の時間では、どの学年も地域の施設や人々とのかかわりを生かして「ふるさと学習」の充実が図られてきた。様々な人との関わりの中から学び、地域に愛着をもち、考える力が育つことを願い、来年度も、小中連携を推進する中で、9ヶ年を通した「ふるさと学習」を充実させていきたいと考えている。
- ・日本語指導…現在30名を超える外国籍の児童が在籍している。日本語指導担当者を中心に、日本語指導の機会が個に応じて確保できるよう計画を立てて、一人一人に寄り添った指導がなされてきたので、児童も国際教室で楽しんで学ぶことができた。来年度も継続していきたい。
- ・働き方改革…勤務時間や日課の見直し、会議のあり方等を見直すとともに、個々のマネジメント力を高めるため、職員間の交流や研修の機会を設けていく必要がある。

【2 学習・文化部にかかわって】

- ・学習指導…研究推進と連携し、児童の学習が充実する授業作りを目指して、期ごとの目標や指導内容を見直していく必要がある。学級間における差が生じないように、職員同士が学び合う風土を築き、どの学級でも同じように指導できるようにしていきたい。
- ・図書指導…花さき会による読み聞かせ、図書支援員によるブックトーク、図書委員会を中心とした読書週間の取り組みなど、年間を通して計画的に図書指導を行うことで、児童が普段選ばない本に触れる機会を設けることができた。しかし、「家であまり読書をしていない」という実態を真摯に受け止め、読書の楽しさ、素晴らしさを実感できるような取組を行っていく必要がある。
- ・情報教育…長期休み前に情報モラル指導を行い、トラブル未然防止に努めることができた。しかし、タブレット使用のルールが守れていないところがある。来年度も、年間を通して情報モラル指導を行うとともに、定期的にルールの確認や意味指導を行っていきたい。
- ・児童会活動…決められた当番活動などに一生懸命取り組み、肥田小学校の生活や行事を支えることで、リーダーとしての自覚や責任感を高めることができた。来年度は、児童がより主体的に取り組めるように、児童自身に考えさせる場を多く設定していきたい。
- ・分団指導、登下校指導…今年度も登下校中のけがやトラブルが多かった。職員による登下校指導や、通学路の安全点検をより丁寧に行う必要がある。

【3 健康・環境部にかかわって】

・体力作り…ACP の意識が高まりつつある。来年度も、ACP に取り組み、より運動好きな児童を増やし、体力向上を図っていききたい。

・安全指導…今年度から、「命を守る訓練」を1回増やし、休み時間の予告なし訓練を2回行った。1回目の反省を踏まえて2回目に取り組んだことで、児童の意識が高まった。日頃から「話を聞く」指導を徹底していくことがいざというときに命を守ることに繋がっていく。高い危機管理をもって指導に当たっていく。

・給食指導…お昼の放送を利用して、給食のメニュー紹介など食に関する指導を行っている。食事のマナー、衛生面、食育の指導をさらに充実させていきたい。

・保健指導…「歯みがきの指導=たくましい子を育てる」という意識のもと、計画的に指導を行うことができた。保護者や地域の方にも協力していただいた歯きらりの活動はとてもよいので継続していく。

・生活指導…記名を呼び掛けているが、記名のない落とし物が一向に減らない。もっと保護者に呼び掛けていくとともに、「自分の持ち物」を大切にする指導を行っていく必要がある。

・その他…机の高さを調節したり、保温、換気、加湿を適宜行ったりして、環境を整えていく。